

まえがき

近年、地球温暖化に伴う気候変動や、廃プラスチックによる環境汚染などの環境問題が、世界的に注目されています。

私たちの身近な暮らしを脅かしつつあるこれらの問題は、自然の生態系に大きな影響を及ぼし、人類の生存基盤を揺るがす深刻な問題であり、早急な対策が求められています。

全国トップクラスの日照時間、快晴日数など、天からの大きな恵みを受ける「日本のひなた宮崎県」は、温暖な気候のもと、豊かな森林や水資源、さらにはそこで育まれる多様な動植物など、素晴らしい自然環境に恵まれています。

一方で、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、野生動植物の保護、森林の整備、大気や水質等の監視による良好な生活環境の保全などに加え、本県の社会生活や経済活動に大きな影響を及ぼす気候変動への適応など、新たな課題も抱えています。

このため、県では、環境行政の基本方針である「宮崎県環境計画（改定計画）」において、「日本のひなた『太陽と緑の国みやざき』の実現」という長期的な目標を掲げ、本県の恵まれた自然環境を守り、生かすことによる持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

この目標を達成するためには、県民一人ひとりのライフスタイルや社会経済システムそのものを、環境に配慮したものに転換することなどが不可欠であり、県民、事業者、団体、行政等が力を合わせて環境保全に取り組んでいくことが重要です。

この白書は、平成29年度の本県における環境の状況と環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様の環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組がさらに進むことを切に願っております。

平成31年1月

宮崎県知事 河野 俊嗣